

愛川町教育委員会

令和4年2月28日

## 愛川町教育委員会 2 月定例会会議録

- 1 会議日程 令和4年2月28日（金）  
午前9時00分から午前11時15分まで
- 2 会議場所 愛川町役場201会議室
- 3 議事日程 日程第1 前回会議録の承認について  
日程第2 教育長報告事項について  
（1）教育長報告  
（2）令和4年度教職員人事配置状況について  
（3）令和4年度愛川町就学措置について  
日程第3 愛川町立小中学校長及び教頭の任命内申について  
（議案第14号）  
日程第4 令和3年度愛川町教育委員会表彰（随時）被表彰者の決定について  
（議案第15号）  
日程第5 令和3年度一般会計補正予算（教育関連）について  
（議案第16号）  
日程第6 令和4年度教育予算（案）について（議案第17号）  
日程第7 教育財産の取得の申出について（議案第18号）  
日程第8 教育振興基本計画の一部修正について（議案第19号）  
日程第9 その他  
（1）新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応状況について
- 4 出席委員 教育長 佐藤 照 明  
教育委員 大 貫 洋  
教育委員 榮 利 隆 一  
教育委員 篠 崎 美 和
- 5 欠席委員 教育委員 梅 澤 秋 久

6 説明を要した者及び議事録作成のため出席した者

教育次長	亀井敏男
教育総務課長	宮地大公
指導室長兼教育開発センター所長	茅泰幸
生涯学習課長	上村和彦
スポーツ・文化振興課長	松川清一
教育総務課主幹	熊坂健一

---

◎開会

- （佐藤教育長） 本日の出席者は4人であります。定足数に達しておりますので、愛川町教育委員会2月定例会は成立いたしました。

よって、これより開会いたします。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりでありますから、ご承知願います。

これより日程に入ります。

---

◎日程第1

- （佐藤教育長） 日程第1、前回会議録の承認についてを議題といたします。

1月定例会でございまして、会議録につきましては、既に配付のとおりであります。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑ありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） 特によろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 特に質疑ありませんので、質疑を終結し、表決に入ります。

日程第1、前回会議録の承認について、本案を原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

（「異議なし」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、日程第1、前回の会議録の承認については、原案のとおり承認されました。

なお、定例会終了後に会議録署名原本をお返しいたしますので、委員の方は署名をお願いいたします。

---

◎日程第2

○（佐藤教育長） 日程第2、教育長報告事項についてを議題といたします。

それでは、教育長報告について、資料1に基づき報告をいたします。

1月25日から2月27日までに出席いたしました主な会議等についてご報告をいたします。

26日、秦野市の市長さん、株式会社ウチダシステムズさんが挨拶に来られました。

27日、第61回神奈川県私立幼稚園教育研究県央地区大会がウェブ開催でありました。

28日、愛川町スポーツ全国大会等出場奨励金交付式。創価大学の中武さん、第98回箱根駅伝の9区を走り、総合7位に対して奨励金が交付されました。

31日、来年度のALTの会社がボーダーリンクとなりましたので、ご挨拶に来られました。

2月2日、定期監査の講評。

3日、教職員新採用面接。3日と7日に面接をいたしました。小学校2人、中学校5人、養護教諭1人、合計8人となります。

4日、県市町村教育委員会教育長会議、ウェブ会議のテストに参加をいたしました。

同日、県立厚木高校の大沢校長にご挨拶に伺いました。第3回県央教育事務所管内教育長会議がありました。

9日、臨時全員協議会。午後、大雪に関する災害対策本部会議、文化財保護委員会会議がございました。県市町村教育委員会教育長会議については、4日はウェブ会議のテストでしたので、本日、9日が会議の予定でしたけれども、急遽、書面開催に変更になりました。環境ポスター展が文化会館でありましたので、子ども達の絵画を見てきました。

10日、新型コロナウイルス感染症本部会議。

14日、政策調整会議。感謝状贈呈。大貫繊維株式会社さんより、SDGsの取り組みの一環として、これまで廃棄していたミシン糸300本ほどを子ども達のために寄附をいただきましたので、感謝状を贈呈させていただきました。寄附いただいたミシン糸は、学級活動に活用してもらうため、各学校に配付をしました。

16日、小・中学校長会議。

17日、元厚木中学校の校長先生が来室。連絡調整会議。

21日、行政経営会議、総合計画の策定委員会がありました。

22日、初任者研修会。今年度新採用の先生方9人が1年間の仕事を通しての感想、学んだこと等を含めて1人10分程度のプレゼンがありました。大変、成長したなど改めて感じました。

県スポーツ推進委員連合会功労者表彰の伝達式がありました。スポーツ推進委員の林さんと八木さんが受賞されましたので、伝達させていただきました。

24日、当初予算の記者発表。

25日、社会教育委員会議、魅力ある学校づくり交付金特別教育課題研究費審査。今回、4校の校長先生がプレゼンを行いました。来年度の学校経営について、プレゼンの審査をさせていただきました。

以上でございます。

これより質疑に入ります。

ご意見、ご質疑ありましたらお願いいたします。

(発言する者なし)

○(佐藤教育長) よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

○(佐藤教育長) 特に質疑がありませんので、教育長報告についてはご了承願います。

次に、令和4年度教職員人事配置状況について、資料2に基づき報告をいたします。

教育総務課長。

○(宮地教育総務課長) 令和4年度教職員人事配置状況について、資料2をご覧いただきたいと思っております。

こちらの資料に基づきましてご説明をさせていただきます。なお、表の左側、参考までに令和3年度の配置状況となっております。

右側の令和4年度をご覧いただきたいと思っております。小学校でございます。

学校名の欄にありますクラス数につきましては、6校全体で普通級が57クラス、支援級が27クラスとなっており、令和3年度と比較しまして普通級では同数となっております。支援級につきましては、中津第二小学校で2減、菅原小学校で1増となっております。

また、教職員につきましては、総計154人、このうち、臨時的任用職員が17人となっております。こちらは括弧書きになってございます。

次に、中学校でございます。

クラス数でございますが、令和3年度と比較しまして普通級では愛川東中学校が1減、全

体では28クラスとなっております。支援級は愛川東中学校が1減、愛川中原中学校が2増でトータル12クラスとなっております。

また、教職員数につきましては、臨時的任用職員11人を含め総計が91人となっております。

なお、小中学校教職員の合計は245人、このうち臨時的任用職員が28人となっております。令和3年度と比較してみますと教職員及び臨時的任用職員数ともに4人増となっております。

なお、参考までに令和4年度の新採用でございますが、小学校では教諭2名、男性が1人、女性が1人、平均年齢は23.5歳となっております。

中学校の新採用は6人となっております。教諭5人、養護教諭1人となっております。性別は全て女性の方となっております。平均年齢は24.8歳となっております。

説明は以上でございます。

○（佐藤教育長） これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等ありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○（佐藤教育長） 特に質疑はありませんので、令和4年度教職員人事配置状況についてはご了承願います。

次に、令和4年度愛川町就学措置について、資料3に基づいて報告をいたします。

指導室長。

○（茅指導室長兼教育開発センター所長） 令和4年度愛川町就学措置について報告をいたします。

今年度の4月定例会におきまして、愛川町教育支援についてご協議をいただき、令和4年度の就学に向けて対応してまいりました。

概略を申し上げますと、資料3にありますとおり、教育支援委員会は年度当初、3回を計画しておりましたが、臨時の委員会を6回開き、計9回の開催となっております。審議対象の総数は83名で、教育支援委員会の答申を受け、保護者との合意形成を図っております。

詳細につきましては、2の表をご覧くださいと思います。小中学校別の表となっております。

説明は以上でございます。

- （佐藤教育長） これより質疑に入ります。  
ご質疑、ご意見等ありましたらお願いいたします。  
よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 特にご質疑ありませんので、令和4年度愛川町就学措置についてはご了承願います。  
それでは、日程第2の教育長報告事項については以上とさせていただきます。
- 

◎日程第3及び日程第4【非公開】

- （佐藤教育長） 日程第3、議案第14号 愛川町立小中学校長及び教頭の任命内申について及び日程第4、議案第15号 令和3年度愛川町教育委員会表彰（随時）被表彰者の決定については、人事案件、個人情報を取り扱う案件となるため、非公開による審議とさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないようでありますので、議案第14号及び第15号につきましては、非公開で審議を行いたいと思います。  
それでは、ここで暫時休憩いたします。
- 

◎日程第5

- （佐藤教育長） 会議を再開いたします。  
日程第5、議案第16号 令和3年度一般会計補正予算（教育関連）についてを議題といたします。

町歳入歳出予算のうち、教育に関する事務に係る部分について、議会議決を経るべき議案を作成する場合において、地方教育行政法の規定により、町長が教育委員会の意見を聴取することになっております。

このため、3月議会に提出するに当たりまして、教育関連の補正計上を行いましたものについて、別添資料に基づき説明するものであります。

なお、詳細につきましては、担当より説明を申し上げます。

教育次長。

- （亀井教育次長） それでは、議案第16号 令和3年度一般会計補正予算（教育関連）につ

いてご説明いたします。

A 4 横書きの資料をご覧ください。

まず、教育総務課所管の町一般会計補正予算であります。歳入であります。1 段目が小学校、2 段目が中学校に対する学校保健特別対策事業費補助金であります。

感染症対策を引き続き実施し、円滑に教育活動を継続するために必要となる保健衛生用品や空気清浄機などの購入経費に対する補助金でありまして、1 段目の小学校等補助金294万5,000円及び2 段目の中学校等補助金156万9,000円を合わせた451万4,000円となっております。補助率は2分の1であります。なお、この補助金は全額を翌年度に繰り越し、関連する事業につきましては、令和4年度で執行したいものであります。

続きまして、歳出でございます。

1 つ目の感染症対策消耗品349万4,000円及び2 つ目の感染症対策備品購入費239万6,000円並びに4 つ目の感染症対策消耗品193万7,000円及び5 つ目の感染症対策備品購入費120万1,000円は、歳入で申しあげました学校保健特別対策事業費補助金を活用し、感染症対策を強化し、円滑に教育活動を継続するために小中学校で必要となる保健衛生用品や空気清浄機等の購入経費であり、令和4年度に執行するものであります。

次に、3 つ目の半原小学校土地購入費4,223万8,000円は、町土地開発公社において先行取得した半原小学校西側用地958.19平方メートルの買戻しに係る経費であります。

一番下に記載の債務負担行為の設定でございます。

予算は基本的には単一年度で完結するということが原則でございますが、1 つの事業や事務が単年度で終了せず、次年度においても債務を負担しなければならない場合には、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておくということでありまして、令和4年度予算を令和3年度中に動きが取れるよう、債務負担行為の設定をしたいと考えております。

内容といたしましては、小中学校施設の改修を行い、児童生徒の学習環境の改善を図るため、小中学校体育館照明器具LED化改修事業を実施したいものであります。この改修工事が円滑に進むよう、3月補正予算で債務負担として事業を設定しまして、令和3年度のこの3月から準備が進められるようにするというので、債務負担行為をこの3月補正予算で設定するものであります。限度額は1,111万1,000円であります。

続きまして、生涯学習課所管の町一般会計補正予算であります。

歳入であります。保育士等処遇改善臨時特例交付金17万9,000円につきましては、昨年



11月に閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に伴い、保育、幼児教育など現場で働く人々の処遇改善として行う放課後児童クラブ指導員報酬の増額に対し、補助するもので、2月、3月分の賃金加算分の支出に対する交付金でありまして、補助率は10分の10であります。

説明は以上です。

○（佐藤教育長） これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等がありましたらお願いいたします。

榮利委員。

○（榮利委員） 確認ですけれども、対象は児童生徒と教職員ということで捉えていいんでしょうか。この補正予算の対象といいますか、小学校中学校の児童生徒と教職員を含むということによろしいんですね。

○（佐藤教育長） 確認ですが、今、榮利委員がおっしゃったのは、教育総務課所管の部分ですか。

教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） 特に感染症対策消耗品備品のところにつきましては、学校で活用していただく手指消毒剤、あるいはこの備品の部分につきましても、各学校に配付をする形で考えております。

以上です。

○（佐藤教育長） そういうことでいいですよ。学校で使うものということで考えていただいてよろしいと思います。

他にいかがでしょうか。

榮利委員。

○（榮利委員） もう一ついいですか。教育総務課所管の先ほど次長が説明された債務負担行為ゼロ債のところのLED化の話ですけれども、今まで年度ごとに順番に体育館の電気をLED化に進めてきていますが、令和4年度の予算でいくと、菅原小学校と中原中学校となっていますが、それはこの項目に当てはめるといいのでしょうか。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） その通りでございます。来年度、実施をいたします菅原小学校、愛川中原中学校の体育館照明のLED化工事、これらについて債務負担行為を行うという形でございます。

- （榮利委員） 分かりました。
- （佐藤教育長） 他にいかがでしょう。  
よろしいでしょうか。
- （大貫委員） 1つ意見を。今のLED化の照明の話ですけれども、これ予算を取って来年度整備すると。これだけのお金をかけて整備すると、例えばLEDだから電気代が今までのものに比べるとこれだけ少なくなりますよ、みたいな部分を説明の中に入れると、余計、ああそうだ、それなら早くLED化しようよという理解が得られるんじゃないかなと思うんだよね。単にこの事業やるからお金が必要でではなくて、やるとこれだけ節約ができますよみたいなものを言うと、説得力があるような気がします。意見です。
- （佐藤教育長） 今の意見に対して何かありますか。  
教育総務課長。
- （宮地教育総務課長） まさにLED化というのは省エネについても大変重要なところでございますので、事あるごとにそういったことも含めてご説明をしていきたいと思っております。  
以上です。
- （佐藤教育長） よろしいでしょうか。  
他にいかがでしょう。

（発言する者なし）

- （佐藤教育長） 他にございませんので、質疑を終結し、表決に入ります。  
議案第16号 令和3年度町一般会計補正予算（教育関連）についての採決をいたします。  
本案を原案のとおりに決することにご異議ありませんか。  
（「異議なし」との声あり）
- （佐藤委員長） ご異議ないものと認めます。  
よって、議案第16号 令和3年度町一般会計補正予算（教育関連）については原案のとおり可決されました。

---

◎日程第6

- （佐藤教育長） 日程第6、議案第17号 令和4年度教育予算（案）について議題といたします。  
町歳入歳出予算のうち、教育に関する事務に係る部分について、議会の議決を経るべき議

案を作成する場合において、地方教育行政法の規定により、町長が教育委員会の意見を聴取することとなっております。このため、令和4年度の教育予算について、別添資料に基づき説明するものであります。

初めに、町長から令和4年度の予算全体についての説明をしていただき、その後、教育次長より教育予算についての詳細につきましての説明を申し上げます。

町長。

○（小野澤町長） 皆さん、おはようございます。

24日に予算の記者発表がありましたので、その内容について若干お時間いただいでご説明をさせていただきます。教育の関係については、また次長からお話があると思うので、全体的なお話をさせていただきます。

新年度予算については、コロナの感染状況等もありますので、4、5、6の四半期の3か月間、イベント等の予算計上はしてございません。見送りということであります。そして、新年度予算につきましては、どこに主眼を置いたかといいますと、国の補正予算と連動させながら、新型コロナウイルス感染症対策、これを第一として子育て、教育に配慮した未来投資型の予算、このような予算編成に努めたところがございます。そうした中で、皆さんのお手元に予算的なものもお配りしてあると思っておりますけれども、町の予算の主眼となる一般会計につきましては、この表にもありますとおり134億7,200万円、前年と比べますと3億1,700万円の増ということでございます。

そして、特別会計、ここは3本ございます。国民健康保険と後期高齢者医療、介護保険の3本でございます。企業会計につきましては、愛川町は公共下水道事業、さらには水道事業ということでございまして、これら全てを合わせますと251億5,876万8,000円ということで、前年より4億2,938万円の増ということで、一般会計全会計とも過去最高の予算となっております。

続いて、歳入の内訳でありますけれども、一番多いのは町税でございます。74億200万円余りということで、1億6,600万円余り前年より増ということでございます。そして、交付税や県の支出金、いわゆる県の補助金など色々ありますけれども、一番下から2つ目、自主財源につきましては、85億8,400万円余りということで、全体の予算の6割以上を占めているということで、まだまだ本町、自主性が保たれているのかなと思っております。

次は町税の内訳ですけれども、これはまた後ほど、ご覧をいただきたいと思っております。税が増えているのは、大手の会社で一部増収が見込まれますので、その影響を受けて増

額となっているところであります。

次に、（２）の歳出の目的別です。これは議会費とか民生費とか、そういう内訳がございます。一番多いのが民生費でございます、52億を超えておりまして、約４割近くが民生費の経費だということでもあります。ちなみに、この民生費52億でありますけれども、15年前の平成20年度には32億でありました。さらに、10年前の平成24年は41億、その後10年たって令和4年度は52億ということで、どんどん膨らんでいるということですね。

そして9番の教育費でありますけれども、14億1,000万円余ということで、前年より3,000万円ほど増加をしているということでございます。

続いて、歳出の性質別ですけれども、これは人件費や維持補修費、お金を借りている公債費など、そういうものを性質別で表したものでございます。これも後ほど、ご覧をいただきたいと思っております。

そして、事業の内訳に入るわけですが、委員の皆さん方には教育関係のところについて配付をしてあります。私のほうからは、それを除いて全体的な新しい施策について、お話をさせていただきますけれども、まずは新型コロナウイルスワクチンの接種につきましては、新年度は2億円弱の計上をしております。おかげさまで本町の場合、接種が順調に進んでおりまして、明日からは5歳から11歳の小児関係の予約の受付をしているというような予定となっております。

そして、2月からは既に新型コロナサポート窓口の開設をしております、専用電話による相談、自宅療養者への食料支援、そして自宅療養者のごみ出し支援ということで、色々な援助をしているところであります。特に本町、外国籍の住民が多いですから、多言語の通訳タブレットを活用しまして、外国籍住民への対応にも努めておるところであります。

それと、新年度は地域経済の活性化のために、第3弾として1人3,000円の町内店舗で利用できる地域振興券を配布してまいります。約1億2,000万円の予算を計上しているところであります。

さらには、ひとり暮らし高齢者の見守り激励事業としまして、民生委員の協力をいただきながら、見守りを兼ね、激励品の配布をしていくことといたしております。

それと、小学校給食への特例補助金の交付でありますけれども、小学校の給食費については、先般の総合教育会議でお話をさせていただきましたけれども、これまで消費税の引上げや物価の上昇等がありまして、厳しい中でやりくりをしながら栄養士さんは、苦勞してきたわけでございます。県下で2番目に低い、現行の月額3,900円の給食費だと、なかなか今後、

継続していくことが難しいということでございましたので、4月からは400円を値上げし、月額4,300円に改定をすることといたしました。ただし、昨今のコロナの状況もございましたので、令和4年度につきましては、国ともやり取りをしまして、国の交付金を活用し、400円の値上げ分全額を、公費負担ということといたしておるところであります。

さらには、小学校の給食用の食器でありますけれども、感染リスクを低減させるために、塩素系漂白剤に対応できる樹脂製の食器に全て更新をしております。そして、コロナの感染防止を図りながら、利用者のニーズに応じていくために、図書館サービスを見直しまして、電子図書を購入しまして、図書館の利用促進を進めていこうということで取り組んでまいります。

さらには、文化会館、半原公民館、中津公民館、ここにW i - F i を全て増設しております。そして、今年の10月からは住民票などが受けられるコンビニ交付も開始をしていく予定でございます。

それと、子育てで新しい事業でありますけれども、これまでも子育て応援赤ちゃん育児用品ということで、育児用品の購入に対して助成を、満2歳までの2年間で3万6,000円分を助成しておりますけれども、新年度からは三歳髪置き祝金支給事業を開始しております。これにつきましては、子どもの健やかな成長を願って、幼稚園などの入学準備などもあろうかと思っておりますので、3歳を迎えたお子さんに3万円を給付しております。

それと、ベビーシッター等に係る費用の助成ということで、ベビーシッターを必要とする方にベビーシッターに係る費用の2分の1を助成していきたいと考えております。

高齢者につきましては、新たに補聴器の購入費の助成をしております。そして、買物への支援ということで、2つの特養、ミノワホームと志田山ホーム、さらには社会福祉協議会、この3法人が新たな取り組みとして、高齢者への買物支援をしておりますので、この送迎サービスを町でも支援をしていくものであります。

パートナーシップの関係につきましては、性的少数者などの皆さんの生きづらさ、これを解消するために、新たに町ではパートナーシップ制度を創設しております。

公園の関係では、八菅山いこいの森、ここが基盤整備できましたので、3年間続けてきましたけれども、新年度は、全てのアスレチックについて更新工事を進めてまいります。

あとは、半原出張所、この跡地がそのままになっていますので、ここを道路河川防災ステーションに改修をしまして、災害等に備えていきたいと考えております。

それと、高規格の救急車を本署に整備をし、2台にしております。さらには、半原分署

にも1台ございますので、こうした形で救急出動に万全を期してまいりたいと思っております。

あとは田代運動公園、ここに大型の複合遊具の設置を、4月中には完成をさせたいということで取り組んでまいります。さらには、半原の観光・産業連携拠点づくり事業につきましては、これまでも鋭意進めておりますけれども、新年度は造成工事に必要な工作物撤去の準備工事、これに取り組んでまいります。あとは民間企業の市場動向、投資意欲を把握するためにマーケットサウンディングを進めていく予定といたしております。

あと、県道につきましては、隠川のところが大型車も多く狭いので、そこを広げて、スムーズな通行ができるように改善を図っていくものであります。数年はかかると思います。

私からは以上であります。

ここで失礼をさせていただきます。よろしく願いをいたします。

○（佐藤教育長） 続いて、教育次長、よろしく申し上げます。

教育次長。

○（亀井教育次長） 町長さんがほとんど説明されたので、大分かぶる部分がありますが、私からはまず全体のことをお話させていただきますと、お手元の資料の1ページ1番の歳入歳出予算総額のところですが、総額では251億5,876万円余りということで、一般会計特別会計企業会計合わせた総額は過去最大規模になるということでございます。

次のページの一般会計歳入歳出予算の内訳ですが、町税のところを説明させていただきますと、右側に内訳がありますとおり、法人町民税、これが大幅に伸びていると。これも先ほど、町長さんがおっしゃっていましたが、町内の大手企業業績回復が見込まれるということで、1億6,655万円余り、2.3%の大幅増、それと左のページの11番目になる地方交付税の2万6,000円余り、こういったものが交付されることが特徴となっております。

資料の4ページ、歳出ですが、子育て、高齢者福祉、障害者事業で構成される3の民生費、これは先ほど町長さんがおっしゃったように52億円余りで、予算全体に占める構成比38.6%最大となるところです。9の教育費につきましては、この後、各担当課長、室長から主な事務事業についてご説明申し上げますが、教育費全体としては令和3年度に比べて3,000万円余り、3,067万2,000円増、2.2%増の総額14億1,600万円余りとなっております。町予算の中では4番目の規模となっております。

民生費が突出しておりますが、4番目、間にある2番目、3番目というのは総務費、衛生費のところですが、特に衛生費につきましてはワクチン関係もございまして、時限

的な要素も大きいのかなど、教育費については十分に配分をしていただいた予算となっていると考えております。

それでは、教育総務課から順次、所管する事業についてご説明申し上げます。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） 教育総務課所管の予算の概要を説明させていただきます。教育総務課につきましては、番号1番、小学校給食費特例補助金の給付、2番、小学校給食用食器購入事業、それと飛びまして8番、親子方式による温かい中学校給食の提供、9番、G I G Aスクールの推進、飛びまして15番、学校施設改修事業、16番、高等学校等への就学に対する助成、17番、要保護・準要保護児童生徒就学援助事業、18番、特別支援教育就学奨励事業についてをご説明をさせていただきます。

7ページをご覧いただきたいと思います。

1番、小学校給食費特例補助金の給付でございます。予算額は750万円となっております。小学校給食の安定的な運営を図るため、給食費を月額3,900円から4,300円に引き上げることに伴い、一時的な措置として値上げ分を町が助成することにより保護者負担の軽減を図るものでございまして、給付対象は町立小学校に通う全児童、補助率は月額400円となっております。

2番の小学校給食用食器購入事業でございます。先ほど町長も言いましたけれども、感染リスクを低減させるため、小学校給食に使用する食器を塩素系漂白剤に対応したPEN樹脂製に更新するものでございまして、全学年及び教職員分を更新するものでございます。なお、3年生分は既に更新済みのため、除いております。

続きまして、8ページをご覧ください。

8番、親子方式による温かい中学校給食の提供でございます。予算額は7,843万9,000円となっております。小学校の給食調理室を活用した親子方式による学校給食を実施することにより、成長期である中学生に栄養バランスの取れた安全で安心な温かい中学校給食を提供するものということで、引き続き、親子方式による温かい中学校給食の運営費、それと真ん中丸2つ目ですね、親と子の温かい中学校給食会の開催ということで、こちらは中学校の1年生の保護者を対象に、給食の試食等も含めた中学校給食会、こちらを開催したいと考えております。

丸3つ目、地産地消の拡大・充実、愛川パクパクデーということで、地場産品の利用を促進するため、地場産食材を取り入れた献立を提供する愛川パクパクデーを実施し、地域の農

業への理解を深めるものということでございます。

9番、G I G Aスクールの推進でございます。予算額は3,700万円になります。国で推進するG I G Aスクール構想に基づき、令和3年3月に全小中学校に配備した1人1台の情報端末を有効活用するため、授業や学習で使用する支援ソフトを活用し、より一層I C T技術の特性を生かした教育環境の整備を推進するものということで、引き続き、ソフトの賃借料、端末の賃借料を支出していきたいと思っております。

その下、新たな事業でございますけれども、自宅学習用モバイルW i - F i ルーターの貸出しということで、こちらは令和3年度の予算、この3月にW i - F i ルーターが納品をされる予定でございますけれども、新年度からこちらのW i - F i ルーターを自宅に通信環境のない家庭にこのW i - F i ルーターを貸し出して、G I G Aスクール端末を活用した自宅学習の促進を図るということで、こういった事業を進めていきたいと考えております。

9ページをご覧いただきたいと思えます。

15番、学校施設改修事業でございます。予算額は2,151万円でございます。小中学校施設の改修を行い、校舎等の長寿命化を図るとともに児童生徒の学習環境の改善を図るものということでございまして、田代小学校と、3つ目ですね、愛川中学校のトイレ改修工事ということで、和式便座を洋式化するといった洋式化工事を実施してまいりたいと思っております。

2段目と4段目、菅原小学校体育館照明器具改修工事、L E D化、それと一番下ですね、愛川中原中学校体育館照明器具改修工事、L E D化ということで、先ほどもお話ありましたけれども、現在、水銀灯であるライトをL E D化照明に更新するものがございます。

その下、16番、高等学校等への就学に対する助成でございます。予算額は1,422万3,000円でございます。丸1個目、通学に対する助成（高等学校等）でございますけれども、一番上の丸ぼち、バス通学助成金でございます。こちらは拡大事業ということで、3ヶ月定期の1ヶ月相当分の25%を12ヶ月分として支給をするということで、いままで20%の助成率でありましたけれども、令和4年度からは25%にということで、助成率のアップを考えてございます。

丸2つ目、自転車通学助成金につきましては、引き続き、購入費の2分の1、電動アシスト自転車につきましては、上限6万円、その他のいわゆる普通の自転車ですね、こちらの上限は2万円ということで、在学中1回限りではございますが、こちらの助成してまいりたいと考えております。

3つ目、高等学校等への入学準備金といたしましては、今までどおり1人当たり2万円の



助成をしてみたいと思っております。こちらにつきましては、準要保護生徒就学援助制度の該当となる世帯を対象としてございます。一番下、教育資金の融資に対する助成、高等学校、大学等でございますが、こちらにつきましても引き続き、教育資金の利子補給を上限2万円で行ってみたいと考えております。

17番、要保護・準要保護児童生徒就学援助事業でございます。予算額4,945万5,000円でございますが、こちらにつきましても引き続き、要保護・準要保護児童生徒の世帯に対し、学用品、あるいは給食費等の助成を行い、経済的負担の軽減を図るということでございますが、こちらも拡大事業といたしまして、令和4年度から、GIGAスクール端末を活用した自宅学習を推進するため、オンライン学習通信費、いわゆる通信費ですね、こちらを年1万4,000円ですけれども、助成するよう拡大事業として新たに設定をしております。

18番、特別支援教育就学奨励事業でございます。予算額576万円につきましても、特別支援学級に在籍する児童生徒の世帯に対し、学用品費や給食費等の援助を行い、経済的負担を軽減するというので、引き続き、事業を実施してまいります。要保護・準要保護の就学援助事業と同じように、オンライン学習の通信費、こちらも新たなメニューに加えまして、家庭での学習を推進してみたいと考えております。

教育総務課は以上でございます。

- （佐藤教育長） 指導室長。
- （茅指導室長兼教育開発センター所長） 指導室及び教育開発センター関連の予算についてでございます。

8ページからになります。

初めに、10、特色ある教育の推進であります。予算額は128万5,000円、新規事業の懐かしの学び舎体験学習は小学校3年生の社会の授業として、半原小学校の旧校舎を活用して行います。

プログラミング教育特別授業、神奈川工科大の教授による特別授業に対する講師謝金を計上したものです。

次に、新規で11番、夜間中学への進学希望の受入れ。相模原市が本年4月に設置する夜間中学への進学について、今後、希望者があれば入学に向けた対応を行っていくものです。なお、本町からは令和4年度の入学希望者はございませんでした。

9ページをお願いします。

12番、放課後学習事業、予算額が234万8,000円、これまでのあすなろ教室、ひのき教室に

加えまして、新規で小学3、4年生で外国につながるのある児童を対象にしたかえで教室を開室するものであります。

13番、英語指導助手派遣事業、予算額が1,322万1,000円です。小学校1年生からの外国語教育を引き続き、実施するもので、ALTの派遣について先日プロポーザルを実施し、準備を進めているところでございます。

14番、コミュニティ・スクールの本格実施、予算額43万2,000円、これまで、愛川町版として行ってきた本事業を新規事業として実施するもので、学校運営協議会委員を町の非常勤職員として位置づけることとなります。

最後になります。10ページをご覧ください。

19番、スクールカウンセラー等派遣事業、予算額が645万5,000円です。

発達相談スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが今年度同様、教員と連携しながら支援を行っていくものでございます。

説明は以上です。

- （佐藤教育長） 生涯学習課長。
- （上村生涯学習課長） 続きまして、生涯学習課所管の事業の概要説明をさせていただきます。7ページをご覧ください。

3番です。電子図書館導入事業、予算額は286万円でございます。先ほど町長からもお話ありましたように、インターネットを通じて好きなときに読書が楽しめる電子図書館を導入いたします。仕事などで図書館を利用することが難しい世代やGIGAスクール構想によるタブレット端末の活用方法としても考えておまして、読書の機会を提供するものでございます。

導入時期は令和4年10月を予定しております。書籍については400冊を購入する予定でございます。

続きまして、4、公民館Wi-Fi増設工事です。こちらも先ほど町長からもお話ありましたが、公民館の機能拡充ということで、会議室や図書館の学習室等でも利用できるように拡充いたします。利便性の向上やオンライン学習環境の整備を図るものでございます。

続きまして、5、放課後児童クラブ事業でございます。こちらは、運営費として328万2,000円が予算額でございます。保護者の就労や疾病等により家庭での育成が困難な児童を対象に、町内全小学校6校に引き続き、開設するものでございます。

続きまして、6、かわせみ広場事業でございます。予算額は115万2,000円でございます。

こちらにも維持管理に係る部分の予算でございます。放課後の時間帯を使い、遊びを通じた異年齢児童間の交流活動等を行うものでございます。引き続き、地域の児童館、公民館等11施設と小学校かわせみ広場が次のページになりますが、中津小学校、中津第二小学校、菅原小学校で実施をいたします。

続きまして、7、孫心ふれあい事業でございます。令和2年度、3年度につきましては、コロナの感染防止のため中止となりました。こちらは、世代間の交流を目的に、町内老人会が学校の環境整備などに携わり、児童と給食を共にしながら触れ合える場を設け、地域とのつながりを深めるものでございますが、令和4年度につきましてもコロナの感染状況を鑑みながら計画してまいりたいと考えております。

続きまして、10ページになります。

20番でございます。第3次生涯学習推進プラン策定事業、予算額は200万円でございます。現行の第2次生涯学習推進プランの計画期間が令和5年度に満了いたしますことから、令和4年度から令和5年度の2年間をかけまして第3次生涯学習推進プランを策定するものでございます。令和4年度につきましては、アンケート調査の実施・分析業務を行います。

続きまして、21番、第3次男女共同参画基本計画策定事業でございます。予算額200万円でございます。こちらにも現行の第2次男女共同参画基本計画の計画期間が令和5年度に満了いたしますことから、令和4年度から令和5年度の2年間をかけまして、第3次男女共同参画基本計画を策定するものでございます。アンケート調査の実施、分析業務を行います。

続きまして、22、地域学校協働活動推進事業でございます。こちら予算額176万3,000円でございます。地域と小中学校、愛川高校が連携・協働し、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支え、教育の質の向上と地域活性化を図るため、全小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、引き続き、地域を創生する地域学校協働活動を推進していくものでございます。

続きまして、23、愛川高校とのアクティブラーニング事業でございます。こちら持続性ある地域づくりに向け、愛川高校と連携して生徒自らがまちづくりの状況や様々な課題について学べる機会を提供しまして、地域に根差した心や地域に貢献できる意識を醸成していくものでございます。

事業内容の未来を担う人づくり特別事業、町長講話と町職員講義につきましては、令和2年度、3年度はコロナの感染予防のため、中止といたしたところでございます。その他、役場でのインターンシップ受入れ、こちらは令和2年度は中止、今年度は生涯学習課でも2名受入れをいたしているところでございます。

最後になります。

11ページの24、学習支援土曜寺子屋事業でございます。予算額は40万9,000円でございます。教育環境に課題を抱える世帯の小学校3年生から中学校3年生までの児童生徒を対象に、学習支援や体験学習を実施し、地域の子どもを育てる環境整備を推進するものでございます。

活動場所につきましては、レディースプラザなどで実施をしているところでございます。

生涯学習課の説明は以上でございます。

○（佐藤教育長） スポーツ・文化振興課長。

○（松川スポーツ・文化振興課長） 11ページよりスポーツ・文化振興課が所管します主な事業についてのご説明を申し上げます。

25番、スポーツイベント・各種スポーツ教室等の開催におきましては、町一周駅伝競走大会、スポーツ・レクリエーション・フェスティバル、いずれも今年度、昨年度、コロナの関係で中止を余儀なくされております。さらに、スポーツ・レクリエーション・フェスティバルに関しましては、その前の年も台風による中止をしているところでございますが、今年度、実施に向けて計画を進めていく予定です。

駅伝競走大会におきましては、今年度、新たに記録計測にICチップを導入し、スムーズな運営を目指してまいりたいと考えております。さらには、立科町との友好都市の連携35周年を記念いたしまして、本大会の会場で行われますミニ駅伝競走大会に立科町の小学生をお招きし、愛川町スポーツ少年団との交流を図りたいというふうに考えております。1月8日、三増公園を発着予定で計画をされております。

スポーツ・レクリエーション・フェスティバルにおきましても、スポーツ振興くじの助成金を活用しまして、事業内容のさらなる充実を図ってまいりたいと考えております。10月19日、第1号公園、体育館を含む施設で予定をしております。

申し遅れましたが、町一周駅伝競走大会のICチップ記録計測器につきましても、スポーツ振興くじ助成金を活用して進めることができるかなと計画をしております。

各種スポーツ教室におきましては、少年少女に非常に人気がございます水泳、剣道、スポーツライミング、サーフィンにつきまして計画を進めてまいります。

26番、町民ラグビー観戦ツアーでございますが、ワールドカップで日本中を奮起させましたラグビー、なかなか町民の方が触れることができないスポーツではございますけれども、三菱重工相模原ダイナボアーズの試合をギオンスタジアムにおきまして観戦し、スポーツを通じた町の振興を目指してもらいたいと考えてございます。

27番の若者たちの音楽祭、8回目でございます。こちらの事業につきましても、今年度、昨年度と中止を余儀なくされ、出演者、そして来場者の気持ちを継承するためにDVD、映像等により皆様に活躍を披露させていただきましたが、次年度につきましては、12月11日に実施予定となっております。

29番の旧半原小学校木造校舎改修工事でございますが、ご紹介のとおり10月に懐かしの学び舎1室をオープンいたしまして、皆様に喜んでいただいている状況でございます。次年度につきましては、窓枠と玄関周りの修繕と塗装を予定してございます。

30番の古民家山十郎修繕でございます。こちらにつきましては、外の塀、建物の部分補修工事を予定しているところでございます。

31番、各運動公園施設そして体育施設の修繕等でございますが、次年度につきましては、中津工業団地第1号公園・体育館におきましては野球場の照明鉄塔の修理、テニスコート、高圧引込みケーブル・変圧器用LBS更新工事、さらには体育館内の暗幕用のレールの交換、三増公園におきましては、更衣室のシャワー給湯器、ワイヤレスマイクの更新、坂本体育館におきましてはバスケットゴール台の修繕、以上合わせまして833万7,000円の予算で計画をさせていただいたところでございます。

説明につきましては、以上でございます。

○（佐藤教育長） これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等ありましたらお願いいたします。

榮利委員。

○（榮利委員） 順番にいきます。

教育総務課の1番、小学校給食費特例補助金の給付について、令和4年度は400円分を補助するということですが、令和4年度以降の給食費についてはどのようにしていくのか、考えを聞かせていただきたいと思っております。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） まず、小学校給食費は、値上げしますよということは決めさせていただきたいと思っております。令和4年度は、その値上げ分400円の補填はいたしますが、令和5年度以降につきましては、町の助成ができるのか、それとも保護者の方に負担していただくのか、そこについては、町で財政状況、国の補助の動向も見ながら、またしかるべきときに判断をしてみたいと思っております。

以上です。

○（榮利委員） 続いて、教育総務課15番、学校施設改修事業についての中で、長年にわたって、トイレの洋式化を進めているんですが、今年度の計画については田代小学校と愛川中学校になっていますが、今後の計画についてはどのように考えていますか。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） トイレの洋式化率につきましては、国の補助、あるいは町の財政状況にもよりますけれども、なるべく早く洋式化率を上げていきたいということで、現在考えております。

以上でございます。

○（榮利委員） なるべく早くというのがちょっと分からないんですけども、今後の計画はできていますか。令和4年、5年、6年、7年、8年という計画はできていますか。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） 今、町では個別施設計画という計画を立ててございます。向こう30年の中で、学校施設をどうしていくか、大規模改修、長寿命化も含めた改修工事の計画を立てております。基本的にはその中で進めていきたいなと思っておりますが、こちらの計画もスパンは長いということもございますので、直近での具体的な計画というのに特化したものはございませんけれども、個別施設計画も見ながら、ただし、なるべくその中でも、早く個別の洋式化工事を進めていながら、洋式化率を上げていきたいと考えております。

以上です。

○（榮利委員） 分かりました。

生涯学習課4番、公民館Wi-Fi増設工事の件で、行政区の公民館も対象になるのか、ならないのか。それから、なるとすればいつ頃の計画なのかを教えてくださいたいです。

○（佐藤教育長） 生涯学習課長。

○（上村生涯学習課長） まず、公民館のWi-Fiにつきましては、町立の公民館3館を予定しております。地域の公民館につきましては、増設の予定はありません。

以上です。

○（榮利委員） 計画がないの。

○（佐藤教育長） 生涯学習課長。

○（上村生涯学習課長） 地域の公民館につきましては、各自治会行政区さんの持ち物、所有というところがありますので、そちらのところまで拡充するというところの予定はないということです。

- （榮利委員） 次、教育開発センターの12番、放課後学習事業の中のかえで教室を新たに設置するという考え方ですが、中津小学校、中津第二小学校、菅原小学校の対象人員を教えてください。
- （佐藤教育長） 教育開発センター所長。
- （茅指導室長兼教育開発センター所長） 対象人員といたしますのは。
- （榮利委員） 3年生、4年生の外国につながるの児童の数です。
- （茅指導室長兼教育開発センター所長） 概数ですけれども、20名ほど対象になる子がいます。それに加えて、外国につながりがあるお子さんはそれ以上います。日本語指導教室に行っているお子さん約20名プラスアルファでこの教室を進めていきたいと考えております。
- （榮利委員） 定員がいっぱいになるなんて話はないの。それはないんだよね。
- （茅指導室長兼教育開発センター所長） そこまではないと思います。
- （榮利委員） 一応、基本は20名ぐらいと。
- （茅指導室長兼教育開発センター所長） はい。
- （榮利委員） 続いて、スポーツ・文化振興課の中で25番、スポーツイベント・各種スポーツ教室等の開催ということで、今年度、I Cチップを導入するという話が出ていましたが、これはテストをやらないとちょっと無理かなと思うんですけれども、時期はどのくらいで目標としては駅伝大会に導入したいということによろしいんですね。
- （佐藤教育長） スポーツ・文化振興課長。
- （松川スポーツ・文化振興課長） I Cチップ導入につきましては、実績のある業者さんを選定し、その中の契約により委員さんがおっしゃるように第68回の駅伝競走大会の中で活用し、円滑な記録計算業務、そして円滑なタイムスケジュールをもって閉会式を迎えるということを目的として考えています。
- （榮利委員） テストか何かはやらないんですか。大丈夫。
- （松川スポーツ・文化振興課長） 実績のある会社ですので、そこは、契約締結後、駅伝の当日を迎える中でどのような運用をするかということは業者さんと打合せできればと考えております。
- （榮利委員） 戻りますけれども、生涯学習課の20番と21番、計画策定ということが2つ載っていますが、予算が200万円ですけれども、この200万の内訳はどうなっているのか。
- （佐藤教育長） 生涯学習課長。
- （上村生涯学習課長） 両プラン策定に係る、計画策定に係る内訳でございますが、こちら

主なものにつきましては、まず現行の第2次プランの振り返りをする研究員の部分と、そのほか実施するためのアンケート作成に係る人件費などのものがほとんどでございます、そのほかアンケートの印刷関係経費発送の部分については、約16万5,000円の見込みがありますので、それ以外の部分については、ほとんど研究費用という形になっております。

以上です。

○（榮利委員） アンケートは大体、今、お話あって、16万から20万ぐらいかな。そうすると、この200万の予算の内訳というのは、研究費になっちゃう、よく分からないけれども。

○（佐藤教育長） ここに書いてあるように、アンケート調査をやっていただいて、さらにそれを分析していただいて、文書にまとめるということがメインです。

○（榮利委員） これはどこかに依頼するの。

○（佐藤教育長） そういうことです。そこを説明してください。

生涯学習課長。

○（上村生涯学習課長） こちらは、コンサルへの委託を考えており、そこでの研究の調査費、分析費等でございます。ちなみに、両方合わせまして、調査分析合わせまして、約40日分の業務量を見込んで予算立てをしております。

以上です。

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

○（榮利委員） はい。

○（佐藤教育長） 他にございますか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 放課後学習事業のことについてなんですが、今回、かえで教室ということで外国籍の方を対象に日本語の学習をするということですが、知り合いの方にお話を伺ったときに、今回、対象が3年生ということになってはいますが、もう少し学年を広げない理由と、それから、ご両親などで完全に外国籍の方は日本語がなかなか通じない親御さんも多いということで、こういう方も、もし傍聴なり参加できたらいいのかなというところがありまして、そのあたりの構想をちょっとお聞かせいただきたいと思います。

○（佐藤教育長） 教育開発センター所長。

○（茅指導室長兼教育開発センター所長） この放課後学習事業について、あすなる教室、ひのき教室というのはこれまであって、あすなる教室が小学校3、4年生を対象に実施しているものです。そこを拡大する形で外国籍の児童ももっと呼び込みたいと、そこで学習を進め



てもらいたいという思いから、3、4年生の外国につながりのある子を町では進めていくという計画になっております。

今後、委員さんおっしゃられるように、もっと低学年の需要があるなど要望が出てくるかもしれません。まずはこの3、4年生を対象にこの事業を進めてみて、その感触というんですか、見ていきたいなというところですよ。

それから、保護者の参加についてですが、基本的にはこの学校には、日本語の指導をしてくれる通訳さんのような方がいられるので、日常的にはその方が委員さん言われるような支援は可能だと思います。ここでお願いするかで教室の講師は、外国語を話せる方ばかりではないので、その保護者のニーズにどこまで応えられるかというところ、まだまだ十分ではないかなというところですよ。始めてみて、そういったお声なども聞きながら、その時間に外国語が話せるような講師の方がうまくつながれば、要望にも応えられるのかなと思いますけれども、実際にはそういう状況ですよ。

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

○（篠崎委員） 大丈夫です。

○（佐藤教育長） 他にいかがでしょうか。

大貫委員。

○（大貫委員） 9番、GIGAスクール、丸新、Wi-Fiルーター貸出し、これはWi-Fiの環境がないおうちにこれを貸し出すわけ。Wi-Fiの環境がないおうちというのは、その環境を自分で設定するだけの経済的な部分もない家庭という意味に取れると思うんです。そこに貸し出す、いいんです。物を貸し出すのはいいんですけれども、そこから先、つなげる、物だけ貸すだけじゃ駄目なんです。つなげるまでも面倒を見るわけですね。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） 先日、このモバイルWi-Fiルーターを購入する業者のプロポーザルを行いまして、この業者さんの提案ですと、本当にそのものが届きましたら、この業者と連絡を取って、通信の手続だけしていただければすぐつながるといような仕組みのWi-Fiルーターですので、いわゆるハード工事は必要ありません。

通信費につきましては、なかなか厳しいご家庭もあろうかと思っております。ですので、先ほども申し上げましたが、いわゆる準要保護世帯に対しまして、オンライン通信費、こういったメニューをそのために追加をさせていただきます、どうしても準要保護世帯に該当した世帯だけになってしまうんですが、そこに関しましては、いわゆる通信費として、年額1万

4,000円を助成し、なるべくそういう家庭にもフォローを入れるような形を考えています。

以上です。

○（大貫委員） ある程度、見方変えると、全部、全て自分の費用でやっちゃって、やっているようなところは、もうモバイルだけ持ってきてやれるわけだけれども、ないからといって面倒見るとするのは、うちもやってもらいたかったみたいな、そういう声って出ないのなかってちょっと心配したんです。それはもういいとしても。

もう一つあります。

その下の特色ある教育の推進で、旧校舎を活用してこういう授業をやりまして、小学校3年生で体験授業をやるんですけども、ぜひ、教育開発センターの指導室の関係だけれども、その前に学校の先生の教育を1回やっておかないと、ただそこへ子どもを連れてきて、昔からいる人の話を聞いて、それだけでおしまいじゃ、この教育効果がないんだよな。だから、これやるのは大いにいいんですけども、私も地元ですから歓迎ですが、まず先生の教育をぜひ入れてください。

例えば、随分古くても40年ぐらい前になると、例えば、愛川町にしても厚木にしても、新しい先生が来ると地元のことを知ってもらうというので、夏季休業中か何か、まるまる1日、ぐるぐる講師を連れて町ごと知ってもらうという意味で、そんなことをやったのですね。それに似たようなことをしないと、宙ぶらりんの事業になってしまうように思います。

あとは、生涯学習課で生涯学習推進プランと男女共同参画基本、調査研究、分析をするための費用を計上していますけれども、これ、どれもみんなこの次、第3次をつくるわけだから、今までの第1次、第2次でよく企業なんかでもやるけれども、PDCAでやっているわけですね。その事業、そういうようなものを今までのものをもう一回チェックして、最後もう一回、第3次のをつくりましょうといったんだけど、その今までやってきたようなものを次に生かすんだけど、その間の実践でこれだけの評価みたいなのがありましたみたいなのを外部への発表みたいなもの、ないような気がします。いつも計画だけつくって、終わりみたいな。そのこと自身が無駄だって言いませんけれども、それだけじゃ、やはりやってきて、他に計画か何かでやってきました、何かどこかで集約してこれだけの成果がありました、あるいは至らないところがありましたという、やはり発表しないと、計画だけつくっておしまいじゃないのみたいな、思われちゃうとくやしいからね。

それからもう一つは、1つお願いがあるんですけども、事業、自分たちだけじゃできないから、事業者で調査分析をやるのはこれはいいですけども、でも、策定委員さんみたい

なものが選ばれるわけだよな、たしか。ぜひ、その人たちが1回選ばれて、これでいいですねって言って、こういう文書か何か見て、いいでしょうみたいなじゃなくて、その人たちが最後まで要するにチェックまでぜひやってもらいたいな。形だけじゃなくて。そのさらに次を教育委員会で評価するなんてのがまた上がってくるので、その前の段階でも、十分、評価、反省はやってもらいたいなという、この1つ自身のいい悪いじゃなくて、意見です。

以上です。

○（佐藤教育長） 生涯学習課長。

○（上村生涯学習課長） 貴重なご提言ありがとうございました。

両プランにつきましては、やはり年度中盤と年度末に現計画の進行管理を図るために審議会を開催して、しっかりと効果検証等も進捗状況等も管理しているところではありますが、やはり、そうしたところでの達成できなかった部分、また反省点等、よく検討しながら、次期の3次を広げていく、また今、大貫委員さんからご提言ありました結果の報告というところまで念頭に置きながら、今後、会議の開催等についてもどのようにしたらよいかというものを含めて、検討してまいりたいと、いいプランがつかれるように検討してまいりたいというふうに考えております。

ありがとうございました。

○（佐藤教育長） 教育開発センター所長。

○（茅指導室長兼教育開発センター所長） 私からは懐かしの学び舎のところですが、今年度、半原小学校の3年生がこの体験学習を既にやっております。愛川町の郷土資料館の学芸員さんに来ていただいて、担任の先生とTTのような形で授業を展開しました。すごく専門的な知識がある中での授業になったので、子ども達にとっても、また先生にとっても学びの場になったのではないかなと思います。

そのときの学習指導案を残してあります。来年度については、その授業の流れというのもし提示しながら、効果的な学習になるように進めていきたいと思っております。

ご意見ありがとうございました。

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

他にございますか。

篠崎委員。

○（篠崎委員） 電子図書館導入事業のことについてお伺いしたいのですけれども、今のところ、どのような形で進めていくのか、どういったスタイルで電子図書館を子ども達が楽しめ

るのか教えていただきたいと思います。

○（佐藤教育長） 生涯学習課長。

○（上村生涯学習課長） まず、電子図書館の仕組みでございますが、現行の図書館のホームページに電子図書館のバナーをつくりまして、ここは改造が必要ですが、バナーをつくりま  
す。そのバナー、ご自分のスマートフォン、パソコンでそのままクリックしていただくと、  
電子図書館専用のページに入っていきます。そこで、書籍、ジャンルごとに分かれている構  
成を予定しているんですが、例えば、小説であれば、貸し出すことができるところから選ん  
でいただいて、Aというタイトルの本が借りられますよということであれば、ご自分のスマ  
ートフォンやパソコンにダウンロードする形で読書が楽しめるということでございます。

ジャンルにつきましては、今後検討という形になりますが、利用人数も把握しながら幅広  
い、なるべく町民の皆様に喜ばれるような、小説に偏らず、児童書の部分も考慮しながら検  
討してまいりたいと思っております。

以上です。

○（篠崎委員） 最初、400冊分ぐらいということですがけれども、これはもう毎年どんどん増  
やしていくというようなイメージでよろしいでしょうか。

○（佐藤教育長） 生涯学習課長。

○（上村生涯学習課長） 電子図書の蔵書の数につきましては、委員さんがおっしゃるように、  
毎年、少しずつ増やしながら、現行の紙の本の状況と同じように、少しずつ増やしてまいり  
ます。

○（篠崎委員） ありがとうございます。

○（佐藤教育長） よろしいでしょうか。

○（篠崎委員） はい。

○（佐藤教育長） 他にございますか。

（発言する者なし）

○（佐藤教育長） 他に質疑がないようでございますので、質疑を終結し、表決に入ります。

議案第17号 令和4年度教育予算（案）について採決をいたします。本案を原案のとおり  
決定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第17号 令和4年度教育予算（案）については原案のとおり可決されました。

◎日程第7

- （佐藤教育長） 日程第7、議案第18号 教育財産の取得の申出についてを議題といたします。

教育財産の取得の申出については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第28条第2項の規定に基づく財産の取得の申し出を行う必要がありますことから、本議案を提出するものです。

なお、詳細につきましては担当より説明申し上げます。

教育総務課長。

- （宮地教育総務課長） 教育財産の取得の申出についてをご覧ください。教育財産について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第28条第2項の規定に基づく財産の取得の申出を行うため、審議願いたく提案いたします。

次のページをご覧ください。

初めに、動産の表示、品名についてですが、空気清浄機A i r d o g X 3 s、A i r d o g X 5 s。納入者は、株式会社ミリオン事務機器となります。数量につきましては、A i r d o g X 3 sは6台、A i r d o g X 5 sは157台であります。取得予定価格は、1,500万1,461円となっております。納入場所は、町立9小・中学校143台、公民館（文化会館、図書館、半原公民館、中津公民館）17台、第一号公園（トレーニングルーム）3台となっております。

説明は以上でございます。

- （佐藤教育長） これより質疑に入ります。  
ご質疑、ご意見等ありましたらお願いいたします。  
榮利委員、どうぞ。

- （榮利委員） 備品台帳に登載されるのかな。

- （宮地教育総務課長） 登載いたします。

- （榮利委員） 故障時の対応は。

- （宮地教育総務課長） 納品直後に発生した初期不良は、納品業者が新品に交換しますが、一般的な故障の場合は、町の費用で修理したいと考えております。

- （佐藤教育長） それでは、他に質疑がありませんので、質疑を終結し、表決に入ります。  
議案第18号 教育財産の取得の申出について、本案を原案のとおり決することに、ご異

議ありませんか。

(「異議なし」との声あり)

- (佐藤教育長) ご異議ないものと認めます。

よって、議案第 18 号 教育財産の取得の申出については原案のとおり可決されました。

---

◎日程第 8

- (佐藤教育長) 日程第 8、議案第 19 号 教育振興基本計画の一部修正についてを議題といたします。

別添資料に基づき、担当より説明申し上げます。

教育総務課長。

- (宮地教育総務課長) 教育振興基本計画の一部修正についてであります。

資料をご覧ください。まず、別冊の「愛川町教育振興基本計画」をご覧ください。

1 ページの 1 計画策定の趣旨の下段にありますが、本町の教育振興に関する総合的な目標や施策の根本方針として、「愛川町教育大綱」を定めておりますが、教育大綱に掲げる基本理念や基本目標を具現化するため、「愛川町教育振興基本計画」を新たに策定し、未来の愛川町を担う人材の育成をめざすこととしております。計画期間につきましては、平成 29 年度から令和 4 年度までの 6 年間となっております。現在令和 5 年度からの計画改訂に向け、準備しているところでありますが、先ほども令和 4 年度教育予算(案)の中でもご説明しましたが、学校運営協議会の設置に向けまして、一部計画内の文言を修正したいものです。

愛川町教育振興基本計画 新旧対照表をご覧ください。愛川町教育振興基本計画の 11 ページにあります学校経営の充実・改善の文中 1 行目「学校評議員制度」と学校経営の充実・改善の表内 2 段目「学校評議員制度」をそれぞれ「学校運営協議会制度」に修正したいと考えております。次のページは 11 ページの抜粋となっております。中段から下の網掛けの部分を修正したいと考えております。こちらは令和 4 年 4 月 1 日からの修正と考えております。

説明は以上であります。

- (佐藤教育長)

これより質疑に入ります。

ご質疑、ご意見等ありましたらお願いいたします。

大貫委員、どうぞ。

○（大貫委員） 修正する箇所について、2ページの計画期間が平成で表記してあります。また、10ページの「和」の下、互いに協力し合える社会性のある「人間の育成」となっていますが、「社会性の涵養」になり、同様に「徳」の下、明るく、心豊かな「人間の育成」となっていますが、「人間性の涵養」になります。あと、5ページの「徳」にある「いっぱい、いろいろな本を読みます」となっていますが、11ページの重点施策に読書のことが出てこない。あいかわ子どもいきいき宣言に合わせていると思うけれども、基本理念にしては、読書が具体的すぎるので、感動体験をしますといったほうがよいのではないかと。

○（佐藤教育長） 教育総務課長。

○（宮地教育総務課長） 来年度の改訂で検討してまいります。

○（佐藤教育長） 他に何かございませんか。

他に質疑がありませんので、質疑を終結し表決に入ります。

議案第19号 教育振興基本計画の一部修正について、本案を原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

○（佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、議案第19号 教育振興基本計画の一部修正については原案のとおり可決されました。

---

#### ◎日程第9

○（佐藤教育長） 日程第9、その他を議題といたします。

初めに、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応状況についての説明をお願いいたします。

○（佐藤教育長） スポーツ・文化振興課長。

○（松川スポーツ・文化振興課長） それでは、スポーツ・文化振興課所管の施設・行事・会議等の対応につきまして、前回との変更点を中心にご説明申し上げます。

公共体育施設につきましては、県内のまん延防止等重点措置の定められたことに伴いまして、当面の間、現在の運用と同様、21時までの開館とさせていただきます。しかしながら、第1号公園体育館のトレーニングルームにつきましては、定員15名、2部制によって運営を行うこととしております。

行事についてでございます。2月5日土曜日に実施を予定しておりました町民ラグビー観戦ツアーでございますが、3月19日に変更しながら実施しようということで考えておりま

す。

古民家山十郎の事業でございます。ひな人形とつるし雛飾りを現在開催しており、3月7日まで開催しておりますので、ぜひご来場ください。

郷土資料館の事業でございます。2月1日から2月27日日曜日までは、「ふるさと百景」と題しまして、ふるさと愛川写真展を実施いたしました。スポーツ協会におけますスポーツ協会強化育成事業（スポーツセミナー）、こちらにつきましても、第1号公園体育館におきまして2月27日に実施しました。

最後になりますが、会議等につきましては、スポーツ協会表彰専門委員会を2月24日に開催しました。また、スポーツ協会の役員新旧役員打合せ会を3月上旬に予定しております。

以上でございます。

- （佐藤教育長） 生涯学習課長。
- （上村生涯学習課長） 続きまして、生涯学習課所管の施設、行事等でございます。1枚おめくりいただきまして、前回からの追加、変更事項につきましては二重線でしるしをさせていただきます。

図書館でございます。

2月10日に県でまん延防止等重点措置期間延長を受けまして、また、町の感染状況急増を踏まえまして、図書館においても2月14日から3月6日までの予定で閉館時間短縮をして、5時閉館とさせていただいているところでございます。

文化会館、半原公民館、中津公民館においては、現況の午後8時閉館を継続しているところでございます。

1枚おめくりいただきまして、最後のページでございます。

行事等の一番下でございます。立志式です。各校で開催でございます。3月16日を予定しております。密集密接を避けるため、式典の挨拶等を事前に撮影したVTRを各教室で視聴する予定でございます。講演につきましては、荻田泰永さんを予定しておりますが、講師の事務所からライブ配信で各学校の教室につないで、視聴していただくような予定をしております。

生涯学習課からは以上でございます。

- （佐藤教育長） 指導室長。
- （茅指導室長兼教育開発センター所長） 指導室長です。特に資料は用意してございませんけれども、2月9日に臨時の全員協議会の中で、学級閉鎖や学年閉鎖等の考え方について教



育委員の皆さんと協議をさせていただきました。まだまだコロナについては予断を許さないところではありますけれども、引き続き、感染症対策が行われるように、学校としっかり連携をしてみたいと考えております。

なお、今年度の卒業式、それから来年度の入学式についてであります。校長会でその実施方法について昨年度の対策を基にしながら学校の規模に応じて対応することを確認いたしました。保護者の人数は1名から2名、座席の配置の工夫や時間短縮、事前の検温など、これまでの取組を継続しながら進めてまいります。

説明は以上であります。

- （佐藤教育長） それでは、これより質疑に入ります。  
ご質疑、ご意見等ありましたお願いします。  
よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 臨時の前回の教育委員会全員協議会での話の内容、これを校長会等で話を  
して、引き続きの感染予防対策を入れながら進めていく中でも、卒業式が大きな事業として  
はこれが最後になりますので、各学校で改めて確認をしながら進めていくことになりました  
ので、ご承知おきください。  
それでは、特に質疑ないようでございますので、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応  
についてはご了承願います。

---

#### ◎閉会

- （佐藤教育長） 本日の案件につきましては、全て終了いたしました。各委員からご意見、  
ご感想等ありましたらお願いいたします。  
よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

- （佐藤教育長） 事務局から何かありますか。

（「特にありません」との声あり）

- （佐藤教育長） それでは、以上で2月定例会の議事日程全て終了いたしましたので、閉会  
としたいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり）

- （佐藤教育長） ご異議ないものと認めます。

よって、2月の定例会を閉会といたします。  
長時間にわたりまして、大変お疲れさまでした。

愛川町教育委員会会議規則第17条第2項の規定により、ここに署名をいたします。

令和4年3月22日

教育委員会教育長

佐藤 照明

教育委員会

教育長職務代理者

大貫 洋

教育委員

柴 利隆一

教育委員

教育委員

篠崎 美和

調整職員

熊坂 健一